

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和4年度）

基本方針	6.健康と安心の地域づくりの推進
基本施策	6-2.お互いを支え合う地域づくり
関連するプロジェクト	6.いきいき元気ライフプロジェクト

生涯にわたって安心して暮らすことのできる地域づくりをさらに進めるため、一人ひとりの人権を尊重する「心」とお互いを支え合う地域福祉活動を基盤に、自殺予防、介護予防、生きがいづくり・自立支援の一層の充実など、様々な状況にある市民を支える地域共生社会の実現に取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	C
------	---

R5事後	14
------	----

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部署	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	福祉部	●	高齢社会を支える「しくみ」づくり 権利擁護に関する制度の周知、普及啓発、相談窓口の明確化を行うとともに、司法、福祉、保健、医療の専門職と連携し、権利擁護支援の地域連携ネットワーク体制の構築を行う。	①	高齢者・障がい者のサービス提供事業所における制度の認知度(59%)であり、前年度(56%)に比べ増加している。	B (A)	広報の推進により制度の周知が図られた。 ・支援者向けの出前講座・研修講師(5回)、 ・フォーラムパネリスト(1回)、 ・市民向け出前講座(4回)、市民向け講演会(1回) ・民生委員向け出前講座(1回) ・広報へ成年後見制度に関する記事を掲載(1回) ・金融機関訪問(8か所) ・医療従事者向け研修会(1回)	第2期成年後見制度利用促進基本計画(国計画)が策定されたことで改めて制度が周知された。	◇制度周知のための市民向け講演会、勉強会、相談会、出前講座の開催 ◇権利擁護支援者向け勉強会 ◇審議会、ネットワーク会議の継続開催 ◇第2期北上市成年後見制度利用促進基本計画の策定 ◆市民後見人の養成・育成に向けた検討及び実施
2	福祉部	●	高齢者を支え合う「ちいき」づくり ご近所おたすけサポーター養成講座の実施やボランティアポイントの活用により、新たな担い手の育成を行うとともに、関係機関と連携して高齢者を支える場の創出を図り、地域における活動の活性化を図る。	②	介護予防ボランティア(ご近所おたすけサポーター養成講座の受講者数)は331人(期待値355人)だった。プログラムの見直しに伴い、参加者は増加傾向にある。	B (B)	ご近所おたすけサポーター養成講座のプログラムを見直したことにより、受講者の興味をひく講座となり、受講希望者が増加した。	講座受講希望者が増加している。受講者の年齢も20歳代から80歳代と広い年代の関心を得ている。	◇ご近所おたすけサポーター養成講座の開催回数を2回から3回に増やす ◇ご近所おたすけサポーターを対象としたフォローアップ研修や情報交換会を開催し、活動の後方支援を行う
3	福祉部	●	認知症バリアフリーの推進 認知症サポーター養成講座の開催を推進し、全世代に認知症に対する正しい理解を広めるとともに、本人や支える家族の視点を大事にした支援体制の構築を図る。	③	人口に占める認知症サポーターの割合は、11.557%であり、増加傾向にあるが、期待値を下回っている。  認知症VR体験の開催	C (C)	認知症サポーター養成講座を37回開催し、1216人を養成した。  高校生を対象に認知症理解促進のため、認知症サポーター養成講座、認知症VR体験を開催した。	コロナ禍で外出の機会が減少する中で、他者との交流も減少し、認知症発症のリスクの高まりが懸念される。  高校生が認知症を自分ごととしてとらえ、認知症高齢者に関心を持つことで、親世代、祖父母世代など広い世代の認知症理解に波及した。	◇高齢者見守り安心ネットワークで講座の周知を行う。 ◇講座プログラムを見直し、孫世代への講座を開催することで、認知症に対する知識や対応方法などを広く周知し、認知症に対する理解を深める。
4	健康こども部		自殺予防に向け、生きるための包括的支援体制づくりの推進 庁内及び関係機関との連携を強化し、自殺に対する認識の浸透及び自殺防止につながる事業を実施する。また、市民ひとり一人がゲートキーパーとなり、社会全体で自殺防止意識の醸成を図る。	④	自殺対策事業は、いのちを支える行動計画に基づき予定どおり実施しているものの、R1年以降、自殺死亡率は増加傾向にあり、期待値を達成出来ていない。会議等を通じて、庁内及び関係機関との連携を図っている。	C (C)	・新採用職員、全庁職員向けゲートキーパー養成講座を開催した。 ・中学校2校を対象に講演会、市民を対象に講演会を開催した。 ・企業の産業保健師と県産業保健センターと情報交換を行った。	長期化するコロナ禍で、失業や生活困窮等の社会的要因により、こころの健康に悪影響をもたらす等の自殺リスクの高まりが懸念されている。	◇いのちを支える自殺対策推進会議及び幹事会、ネットワーク会議、作業グループ会議を開催。 ◇働き盛り世代への支援について、市内企業・県産業保健総合支援センターとの意見交換会を開催。 ◇こころの体温計やこころの相談窓口一覧表の配布等メンタルヘルスの啓発に努める。 ◇ゲートキーパー養成講座を新採用職員向けに継続実施。
5	福祉部		ひきこもり支援の推進 ひきこもりに関するスキルの共有と専門性の向上を図り、併せて、具体的な支援施策に対する意見交換や評価などを行う「ひきこもりネットワーク協議会」を拠点として、専門性を持つ相談窓口や居場所づくり等のひきこもり支援の具体策を実施する。 また、生活困窮に陥る可能性のある「ひきこもり」の方に対して、「アウトリーチ」による支援を行うことができよう自立相談支援機関の強化を図る。	⑤⑥	ひきこもり支援のための居場所の延利用者数、アウトリーチ支援員等の訪問・出張面談の件数は、期待値を上回っている。  ひきこもりネットワーク協議会をプラットフォームとして、関係機関と市関係部局等のネットワーク機能が拡充されたほか、事例検討を通して顔の見える関係が構築されている。	A (A)	・関係機関を対象とした専門家による研修会を実施したほか、令和3年度から北上市社会福祉協議会へ委託事業として「アウトリーチ支援」及び「ひきこもりサポート事業」を開始し、継続的な支援体制を構築した。 一般市民や本人・家族に向けた周知・啓発活動(講演会等)を実施したことで、ひきこもりに対しての理解が促進された。 ・居場所の開設時間に午前中を加えたことで、就学児童を含む幅広い世代の利用につながった。	一般市民や本人・家族に向けた周知・啓発活動(講演会等)を実施したことで、ひきこもりに対しての理解が促進された。	◇委託事業を①「アウトリーチ機能」と②「居場所事業」に分け、市全体のひきこもり支援の調整機能である①を社会福祉協議会へ、②の主な内容である居場所事業を労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団へ委託し、2法人が中心となり市内のひきこもり支援実施体制を構築している。 ◇引き続き国・県に対しても財政的な支援を含め協力を依頼していることから、今後も継続的な支援体制の構築を目指す。

凡例 →実績値 ←期待値

指標	指標の説明	実績値							期待値		
指標 ① 成年後見制度の認知度(介護・障がい福祉サービス事業所)	高齢者・障がい者のサービス提供事業所における制度の認知度										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		福祉部	%	実績値	38.0	56	59				
				期待値	38.0	45.0	52.0	59.0	66.0	73.0	80.0
	備考										
指標 ② 介護予防ボランティア登録者数	ご近所おたすけサポーター養成講座受講者数										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		福祉部	人	実績値	209	230	259	331			
				期待値	209	258	306	355	403	452	500
	備考		累計								
指標 ③ 人口に占める認知症サポーターの割合	人口に占める認知症サポーターの割合										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		福祉部	%	実績値	9.6	10.0	10.3	11.6			
				期待値	9.6	10.6	11.6	12.6	13.6	14.6	15.6
	備考										
指標 ④ 自殺死亡率(人口10万人あたり)	その地域の人口10万人対の自殺者数を示すもの										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		健康こども部	人	実績値	18.33	19.45	20.57	24.9			
				期待値	18.33	17.78	17.22	16.67	16.11	15.56	15
	備考										
指標 ⑤ ひきこもり支援のための居場所の延利用者数	居場所利用者数の延べ人数										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		福祉部	人	実績値	0	963	1,979	1,955			
				期待値	0	100	200	300	400	500	600
	備考										
指標 ⑥ アウトリーチ支援員等の訪問・出張相談の件数	生活困窮者自立支援事業における、①自立相談支援 ②就労準備 ③子供の学習支援 ④アウトリーチ相談 ⑤ひきこもりサポート 各事業に係る相談者等の延べ人数。										
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		福祉部	件	実績値	156	580	535	395			
				期待値	156	171.7	187.3	203.0	218.7	234.3	250
	備考										
指標 ⑦											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑧											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑨											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑩											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑪											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑫											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑬											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑭											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										
指標 ⑮											
		担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				実績値							
				期待値							
	備考										